

「逆さケチャップ」の売上で被災地支援 第1弾は、復興支援のために設計された“モジュール型建物” 3棟を仮設集会所として、宮城県東松島市宮戸島に寄贈

ハインツ日本株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:ポール モリ)は、ハインツの代表的な商品であるケチャップの市販用商品「逆さケチャップ460g」の売上の1%を、東日本大震災の被災地支援に寄付する活動を2011年6月から展開しています。この度、当プロジェクトの第1回目の寄付として、宮城県東松島市宮戸島の漁村地区へ、多目的に使える組み立て式のモジュール型建物、『ユニバーサルビルディング キューブ(UBC)』3棟を、仮設集会所として10月8日(土)に寄贈いたしました。

被災地の広範囲な用途のために設計された建物の第一号を寄贈

被災地では仮設住宅へ入居した後の新たな生活に向けた施設が不足しています。今回贈呈したUBCは、移動可能な仮設物のため行政の本格的な復興計画が決まる前でも建築許可が不要で、複数をつなぎ合わせることで様々な用途に利用することができるものです。

被災地で支援活動をおこなう山形県在住の山口ステーブ氏の発案により、同県に本社を置く建築会社の株式会社シェルターが無償で設計いたしました。

UBCの完成作業にはハインツ日本の本社および東北営業所の社員、月浜区の漁師の皆さん、ボランティアの方たちが参加しました。そして、寄贈式終了後の餅撒きや大食事会には100名以上の方々が参加し、その夜にUBCの中で行われた懇親会では、「暖かい」「木の香りがする」といった声が聞かれ、新たな仮設集会所としての活用がスタートいたしました。

UBCは組み立てや移動の容易さだけでなく、こうした“人に対する優しさ”も考慮して設計されています。さらには2階建てや3階建て、高床式にも対応できるなど、被災地の復興に大きな可能性を持っていることも考慮し、今回その第1号の寄贈を決定しました。



設置したUBCの前で津波に流されその後発見された「月浜公民館」の看板を持って撮影。左から山口ステーブ氏、UBC建設用地を無償提供した漁師の小野紘一さん、民宿「山根」経営者の小野重美さん、小野源次郎区長、ハインツ日本社長ポールモリ、シェルターの木村一義社長とUBC設計者の菅野敏一さん

ハインツ日本では逆さケチャップの売上の一部を、今後も被災地のニーズに合った具体的な活動に寄付をすることにしており、その内容はリリースおよびホームページにおいて随時公開してまいります。



寄付対象の「逆さケチャップ460g」

→お客様からのお問い合わせ先

ハインツ日本株式会社 お客様相談室 TEL:0120-370655

→報道関係者様お問合わせ先

ハインツ日本株式会社 広報担当:池田
TEL:03-5687-7526 FAX:03-5687-1648
E-mail: mariko.ikeda@jp.hjheinz.com

参考資料

【寄贈式 概要】 下記のとおり行われました

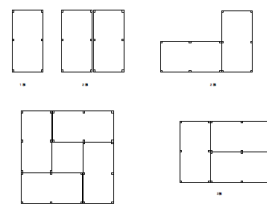
日時: 2011年10月8日(土) 15時～17時
 場所: 宮城県東松島市宮戸島月浜区(漁港)の仮設住宅の隣接地
 (JR東北本線 松島駅より車で25分)
 寄贈内容: ユニバーサルビルディングキューブ(UBC) 3棟を連結した仮設集会所
 参加: ハインツ日本(株) 代表取締役社長 ポール モリ
 (株)トラベル東北 代表取締役 山口 スティーブ 氏
 (株)シェルター 代表取締役 木村 一義 氏
 宮城県東松島市宮戸島月浜区 区長 小野 源次郎 氏
 式次第: ■UBC完成作業 (参加者: 関係各社の代表及び社員、月浜区の漁師、ボランティア)
 ■寄贈式 ハインツ日本 代表取締役 ポール モリ 挨拶/UBC鍵の贈呈
 小野源次郎 月浜区長 挨拶 建前

■UBCについて

名称: ユニバーサルビルディングキューブ
 (Universal Building Cube 略してUBC)
 発案者: 山口スティーブ氏 (株式会社トラベル東北 代表取締役)
 設計: 株式会社シェルター
 構造: KES構法(スーパーイージー仕様)
 屋根: 波型ガルバリウム鋼板
 床面積: W6.075xD3.85 23.38㎡ (7.07坪)
 外壁: ガルバリウム鋼板(アイジーサイディング)
 内壁: 構造体表し(用途に応じてオーナーが設定する)
 天井: 同上
 建具: アルミサッシ(YKKAP)
 電気設備: 未設置(用途に応じてオーナーが設定する)

特徴:

梁・柱構造が木造のため、縦・横に連結が可能で、用地や用途によって自由自在に組み合わせることができる。また、梁・柱の接合部分は埋め込み式鉄製金具のため、木造建造物では珍しく、クレーン車による吊り上げ・移動が容易にできる。



UBCの組み合わせ例(1棟～4棟)

■山口スティーブ氏について

山形県最上郡に本拠地を置く株式会社トラベル東北の社長。東日本大震災後は民間力と被災地のニーズを直接つなぐためのボランティアツアーを7月より毎週企画運営しており、これまでに述べ220人が参加。行政による本格的な復興計画の実現までに地域の産業やコミュニティーが消滅してしまうことを危惧しており、被災者の自発的な復興意欲と民間の支援をつなげる枠組みを作る活動を行う。今回のUBCも“本格復興までの重要なつなぎの支援策”として、一部地域だけではなく被災地全域に大きなニーズがあると考えている。日本在住26年、日本国籍取得済み。米国カンザス州生まれの51歳。
http://www.traveltohoku.co.jp/?page_id=131

■シェルターについて

社名: 株式会社 シェルター <http://www.kes.ne.jp/>
 代表: 代表取締役 木村 一義
 事業内容: 山形県山形市の建築会社。木造建築における接合金物工法(KES構法)のパイオニア。KES構法による阪神淡路大震災中心部に建てられた多数の3階建住宅や、東日本大震災で最大震度を記録した宮城県栗原市の栗駒総合支所等の大規模木造建築物のKES構造体に全く損傷がなく、卓越した耐震性能を実証(KES構法は2010年文部科学大臣表彰科学技術賞受賞)。
 今回山口スティーブ氏の依頼を受けてUBCを設計し、第1号から5号までのプロトタイプの改良と現地での設置テストを経て完成にこぎつけた。

■商品概要

商品名: ハインツ トマトケチャップ逆さボトル
 内容量: 460g
 メーカー希望小売価格: 260円(税抜)/273円(税込)
 特徴: 液だれしないノズルと逆さまに置ける外国生まれの洗練されたデザイン。トマトの旨みと甘みが生きた濃厚なトマトケチャップです。
 ラベル: 2011年9月より順次、被災地支援ラベルに切り替わっています。
 (売上の1%の寄付は2011年6月上分より対象です)



商品ラベル(支援バージョン)